



IUFRO-J NEWS

No. 88 (2006.8)

アジア・太平洋地域林業研究機関連合 (APAFRI)

第4回総会報告

森林総合研究所 理事 石塚和裕

はじめに

本年7月31日、マレーシア、クアラルンプール市において、アジア・太平洋地域林業研究機関連合 (APAFRI) 第4回総会が開かれました。APAFRIについては、アジア及び太平洋地域における林業研究機関の連合として1995年に設立され、1997年に設立総会が開かれて以来、3年ごとに総会が開かれてきました。今回は森林総研の代表として参加する機会を得たので、ここに報告いたします。

本連合は、同地域の林業研究機関がIUFRO及びFORSPA (アジア・太平洋林業計画支援計画) との連携を得て、林業研究に関する科学技術情報の交換、研究・連携プログラムの促進、機関相互の連携強化を目的として設立したもので、現在、23カ国・地域の64機関が加盟するまで成長してきました。日本からの参画機関は森林総合研究所と国際農林水産業研究センターのみですが、マレーシア及びインドが10機関、中国が5機関、インドネシア、フィリピン、台湾がそれぞれ4機関で、国の機関だけでなく大学、国際機関 (CIFOR) や民間企業の参加も見られ、IUFRO (世界林業研究機関連合) の地域組織として、本地域の重要な連合体となっています。

APAFRI総会

総会は64機関中32機関の直接参加で成立し、提出された資料に基づき3年間の活動報告並びに次期の活動計

画、実行委員会委員の選出等を討議し、決定しました。

(1) 第3回総会の議事録の確認

2003年10月、マニラで開催された第3回総会の議事録について検討を行い、一部訂正の上確認されました。議事録は60ページに及ぶが事前に配布されていたので大きな変更はありませんでした。

(2) 議長活動報告

前回総会以降の活動について報告があり、国際会議、ワークショップ、セミナー等の開催と参加、ニュースレターの発行、ITTOプロジェクト立案 (APAFRI情報システムの開始、森林遺伝資源情報は基本的了承、フタバキ科樹木に関する円卓会議は準備中) とその他EU、UNDP他へのプロジェクト申請状況、新規加入の組織と個人の紹介、アジア太平洋遺伝資源プログラム (APFORGEN)、アジア太平洋森林研究者ディレクトリー (USDA - FS 予算)、森林情報インパクト調査 (FAO 予算) の報告、実行委員会 (2005年8月) 及び事務局活動等が報告されました。特にアジア太平洋森林研究者ディレクトリーへの登録と参加が求められました。また今期は、ラオ博士賞への機関からの推薦が1件もなかったのを見送ることとなりました。なお、財務関係の報告があり、外部からの援助資金枯渇の恐れが指摘されました。

(3) 規約の改正

財務状況から、10年前に決定された機関会費について、開発途上国並びに最貧国(国連の基準による分類)について、それぞれ250から500ドル、50から250ドルへ、値上げが提案され、了承されました。ただし、先進国の1000ドルは据え置かれています。

実行委員会メンバーについては、規約上は既に2期目、計6年を経たことから、新たなメンバーの選出が必要となりましたが、2期継続した議長の取り扱いが定まっていなかった(従来、1期終了時に次期は委員として残る)ので、この件についても、新たな定めとして対応することとなりました。

(4) 新役員の選出と決定

2006-2009年の新役員選出については、中国並びに韓国以外の現委員は既に2期を経ているので、全て(機関としても)交替となりました。

各メンバーからの推薦を受けて、下記の通り選抜されました。なお、委員のうち4名については、今後とも太平洋、東アジア、東南アジア、南アジアの各地区から必ず1機関を選ぶこととしました。また、各委員は機関の代表として扱い、人事異動の際には同一機関から後任者を選ぶことも決まりました。また事務局については、今後ともFRIMに置くこととなりましたので、事務局長はFRIMから選抜されると予想されます。今回初めて議長と事務局と国が分かれることとなりましたが、新たな体制の下で、次期IUFRO大会(2010、韓国)に向けた活動が期待されています。

2006-2009年の新役員

議長：Dr. Sarath Fernando (FD, Sri Lanka)
副議長：Dr. Nur Masripatin (CPF, Indonesia)
前議長：Dato 'Dr. Abdul Razak Mohd Ali (FRIM, Malaysia)
委員：Mr. Nalish Sam (PNG-FRI)/Pacific
Dr. Mohd Hamami Sahri (UPM, Malaysia)/South East
Dr. C.N. Pandey (IPIRTI, India)/South
Dr. Xiao Wenfa (RIFEP, CHN)/East
Dr. Jung-Hwan Park (KFRI, Korea)
Dr. Percy Sajise (IPGRI, Malaysia)
内部監査：Dr. Kazuhiro Ishizuka (FFPRI, Japan)
Dr. Petrus Gunarso (CIFOR)

(5) その他

台湾から、2007年に予定しているIUFRO第5部(木材)全体の会議について協賛と財政的支援を求めてきましたが、資金面では厳しい財政事情から否決されましたが、APAFRIの協賛は受けられることになりました。

APAFRIの諸活動とさまざまな情報については、インターネット(<http://www.apafri.org/>)でご覧いただけます。現在入手可能な印刷物(<http://www.apafri.org/pub.htm>)なども持ち帰ってきました。

アジア、太平洋各国との連携・協力は今後とも益々重要となってくると思います。この地域で研究活動を行っている機関の方々もAPAFRIへの加入を是非ご検討下さい。詳細については、石塚まで御連絡下さいませようお待ちしております。



写真 総会参加者による記念撮影

IUFRO-J 平成18年度機関代表者会議

平成18年4月3日に、東京農業大学世田谷キャンパス1号館203教室において、標記会議が開催されました。A会員、B会員合計20機関代表に出席いただき、堀靖人主事の司会で議事が進められました。以下では、代表者会議での審議、承認された議題の概要を報告します。なお、会議開催に際して、東京農業大学の第117回日本森林学会大会運営委員会の皆さまに大変お世話になりました。この場を借りてお申し上げます。

平成17年度会務報告

1. 一般会計

1) IUFRO-J News 発行

No.85 (2005. 8) : 部会報告・機関代表会議報告

No.86 (2005.12) : 理事会報告・集会報告

No.87 (2006. 3) : 集会報告

会誌送付会員(平成18年3月14日現在(会費納入者数))の現状

A会員: 27機関(688)名分納入済み

(会員数前年度比: 24人減)

B会員: 22機関(18)機関納入済み

(会員数前年度比: 1人増)

C会員: 36名(26)名納入済み

(会員数前年度比: 1人減)

賛助会員: なし

2) 理事会出席助成

なし

3) IUFRO 関連研究集会事務局・参加助成

事務局(20万円)

清水 晃・荒木 誠(森林総研)

鎌田 直人(金沢大学,(現)東京大学)

参加(10万円)

吉村 哲彦(京都大学)

2. 平成17年度役員

議長 大熊 幹章(森林総研)

幹事 沢田 治雄(森林総研)

田中 俊成(森林総研)

監事 本山 芳裕(日森協)(H16年10月~)

三國 昇(林 振)

主事 堀 靖人(森林総研)

平成17年度会計決算報告

1. 一般会計(平成18年3月14日現在)

【収入】

科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	1,675,666	1,675,666	
会費 A会員	817,000	688,000	
B会員	140,000	129,000	
C会員	36,000	26,000	
前年度未収分	87,000	93,000	前々年度分の 会費振り込みを含む
会費前納分		1,000	
雑収入	1,000	6,526	利息, IUFRO専用誌集
合計	2,756,666	2,619,192	
(単年度収入合計)	(1,081,000)	(943,526)	

【支出】

科目	予算	決算	備考
情報活動費	750,000	528,279	J-News印刷費 (No.84,85,86,87) ・発送料
会議費	50,000	32,271	前年度機関代表会議 (北海道大学)
旅費	0	0	理事会出席助成 (世界大会でなし)
雑費	10,000	6,835	振り込み手数料・ 送金手数料
予備費 助成	500,000	500,000	事務局・参加助成
次年度繰越	1,446,666	1,551,807	
合計	2,756,666	2,619,192	
(単年度支出合計)	(1,310,000)	(1,067,385)	

平成17年度監査報告

平成17年度ユフロ-J事業会計について監査した結果、各種帳簿ならびに証拠書類はいずれも、正確に整理・記録されており、本件経理は適正であったことを認める。

平成18年3月27日

IUFRO-J 監事

財団法人 林業科学技術振興所 事業部長
三國 昇

平成17年度ユフロ-J事業会計について監査した結果、各種帳簿ならびに証拠書類はいずれも、正確に整理・記録されており、本件経理は適正であったことを認める。

平成18年3月27日

IUFRO-J 監事

社団法人 日本森林技術協会 理事
本山 芳裕

平成18年度予算案

予算案立案の基本的な考え方

一般会計予備費を関連研究会助成に活用する方向を継続する。

単年度収支に心がける。

1. 一般会計予算案

【収入】

科目	予算	備考
前年度繰越金	1,551,807	
会費 A 会員	763,000	27 機関
B 会員	121,000	20 機関
C 会員	34,000	34 名
未収分	96,000	会費未収 (H17 年度合計)
次年度前納		
雑収入	1,000	
合計	2,566,807	
(単年度収入合計)	(1,015,000)	

平成18年度事業計画案

1. 一般会計事業

1) IUFRO-J News 発行

番号（予定時期）：掲載記事に関する事務局案、各号とも16ページ予定。

No.88（2006.6）：集会報告，機関代表会議報告

No.89（2006.12）：集会報告，理事会報告

No.90（2007.3）：集会報告

各1200部印刷し，会員配布

注：掲載記事は，IUFRO 活動で会員に広く知らせたい事項を優先したいと考えます。投稿をお待ちしております。

2) 理事会出席助成

理事

3) IUFRO 研究会事務局・参加助成の募集

助成申請は随時受け付けている。12月末で締め切り、集計し、選考委員会に諮り、助成対象を決定する。助成対象は、IUFRO 関連集会の事務局，参加で、事務局助成が20万円を2件，参加助成10万円を1件を目処とする。助成を受けた方にはIUFRO-J News への投稿をお願いしている。なお，本年度は，事務局助成を丸井英明（新潟大学）に行う。

4) 新規会員の加入勧誘

【支出】

科目	予算	備考
情報活動費	750,000	J-News 印刷費・発送料・封筒代
会議費	50,000	機関代表会議(東京農学大学)
旅費	300,000	理事会出席助成
雑費	10,000	振り込み手数料・送金手数料
予備費 助成	200,000	事務局・参加助成
次年度繰越	1,256,807	
合計	2,566,807	
(単年度支出合計)	(1,610,000)	

・ 役員選出, 承認

平成18年度役員候補

役員	氏名	所属	区分	(任 期)	役職による指定
議長	大熊 幹章	森林総研	現	(H17年4月~)	理事長
幹事	沢田 治雄	森林総研	現	(H15年4月~)	研究コーディネータ (国際研究担当)
	田中 俊成	森林総研	現	(H16年4月~)	研究協力科長
監事	本山 芳裕	日 森 協	現	(H16年10月~)	
	三國 昇	林 振	現	(H9年10月~)	
主事	藤間 剛	森林総研	新	(H18年4月~)	国際研究推進室長

議長, 幹事および監事は機関代表会議で選出, 主事は議長が委嘱。(会則第11条)

任期は2年, 再任は妨げない。(会則第12条)

・ その他

機関代表者会議では, 次のような意見が出された。

会誌 IUFRO-J ニュースの配布方法として, PDF ファイル化して配る方法など検討が必要である。

年に一回, 機関代表者会議を開いている。この会議をわざわざ開かないでメールなどで済ますことも考えられるのではないか。

IUFRO-J の会員であるメリットについて検討する必要がある。例えば, 現在の事務局費・参加助成費をより広く浅く出すことも考えられる。

平成18年度の事務局費・参加助成費は20万円で済むのであれば, 予算が少なくて済んだ分を平成19年度に繰り越すことも考えられる。

事務局のコメントとして, については, 以前にも同様の提案をいただいた。PDF ファイルのメールによる送付は, 有効であると認識している。ただし, 全ての会員がネット環境を整えているわけではないことと, 記録という面から印刷物による方が有利であるという面も否

定できない。現状ですぐに実行できないが, 今後検討していく必要がある。 については, 年に一回, 会員が互いに顔を合わせる機会が必要であると事務局は考えている。 と に関しては理事の旅費を含め検討する必要がある。平成19年度の予算に反映したい。

IUFRO 役員(2006 ~ 2010年)

理事 (General member)

中静 透 (東北大学生命科学研究科・教授)

拡大理事会メンバー

第3部会 Deputy Coordinator

酒井秀夫 (東京大学北海道演習林・教授)

第4部会 Deputy Coordinator

吉本 敦 (東北大学大学院環境科学研究科・助教授)

第7部会 Deputy Coordinator

鎌田直人 (東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林研究部・助教授)

事務局からのお知らせ

次回 IUFRO Managing Committee を日本で開催予定

来年3月5日から9日にかけて、IUFRO Management Committee が、日本で開催されます。この会議は、IUFRO の全体のマネジメントに関する会議で、出席者は理事会メンバーやセクレタリーを中心に15-20名、2日間の会議と、1日のエクスカージョンが含まれます。

IUFRO の重要な会議が日本で開かれるということなので、IUFRO-Jとして積極的に協力していければと考えます。会議の詳細については、IUFRO-J Newsの次号で紹介させていただきます。

< 森林経理学専門用語集 ~ 中国語版 ~ ご案内 >

TERMINOLOGY OF FOREST MANAGEMENT PLANNING (Chinese Version)

Shuen Chao WU 監修、ドイツ語・英語・フランス語・スペイン語・イタリア語・ポルトガル語・ハンガリー語・ルーマニア語・日本語の9カ国語対訳付き、IUFRO Secretariat, 2003年発行 (IUFRO World Series Vol.9-ch), A4判, 189ページ, 定価30 USD。

購入希望の方は、IUFRO-J事務局にご連絡ください。1部2,000円 (送料込み) で販売します。また、森林経理学専門用語集 ~ 日本語版 ~ (ドイツ語, 英語, フランス語, スペイン語, イタリア語, ポルトガル語, ハンガリー語の7カ国語対訳付き) の在庫もあります (1部2,500円 (送料込み))。なお、事務局での在庫がなくなった場合には注文をお受けできないこともありますので、ご了承ください。

(事務局)

IUFRO研究集会事務局・参加助成実施要領

対象集会：IUFRO関連研究集会（参加費助成は、海外での研究集会に限ります。ただし、世界大会への参加助成はいたしません。事務局費助成は、事務局が日本にある場合に限ります。）

助成金額：事務局　：20万円/団体，
集会参加：10万円/人　を目途とします。

応募資格：会費を納入している機関，会員
会則第5条に則り，研究者登録をお忘れ無くお願いします。事務局で会費納入を確認できない方は助成の対象にできません。
研究集会参加は筆頭発表者に限ります。

募　集：随時受け付け，毎年12月末現在で集計します。募集対象となる研究集会は，集計時の翌年4月から翌々年の3月までに開催される研究集会です。別添申請書に必要事項を記入し，必要資料を添付して，下記まで送付。
〒305-8687 茨城県つくば市松の里1番地 森林総合研究所内
IUFRO-J事務局 宛

選　考：12月末現在で集計し，募集対象となる研究集会を選考対象として選考委員会に諮ります。

選考結果：IUFRO-J Newsで発表。

配布時期：原則として集会開催1ヶ月前。

（国際集会の場合，キャンセルになる場合もありますので，できるだけ直前とします。）

備　考：助成を受けた機関・会員にはIUFRO-J Newsへの投稿を求めます。

注　意：助成金額はあくまで目途です。

IUFRO-J一般会計の収支状態によって，事務局で勘案いたします。

附　則：

（平成9年4月施行通知，初出IUFRO-J News No.61）

（平成9年7月10日 IUFRO-J News No.61 掲載一部改訂）

（平成13年8月 IUFRO-J News No.73 掲載一部改訂）

（平成17年7月 IUFRO-J News No.85 掲載一部改訂）

会費納入・研究者登録のお願い

IUFRO-Jの活動は会費収入で運営されております。健全な会の運営のために会費納入をお願いいたします。

A, B 会員におかれましては、会費納入と併せて研究者（会則第5条）、連絡員（付則1）の登録（事務局への連絡）をいただいております。また、転勤・退職等で機関を離れた皆様には、あらためてC会員としてご登録いただきますようよろしくお願いいたします。

納入方法

郵便振り込みの場合

郵便振替口座：00190-3-159224

名義：IUFRO-J事務局

*事務局といたしましては、できる限り郵便振り込みをご利用いただきますよう、お願い申し上げます。

銀行振り込みの場合

関東つくば銀行 牛久支店 普通預金口座 697583

名義：IUFRO-J事務局 ユフロジエ ジムキョク オオクモトアキ 大熊幹章

注意：-（ハイフン）をお忘れなく。

< IUFRO-J News への寄稿のお願い >

会員の皆様のご協力により「IUFRO-J News」の発行も順調に進んで参りました。これからもニュースの内容を充実させるために、IUFROの研究集会などの開催予定や参加した集会の内容紹介など、会員に広く知らせたい事柄について記事をお寄せください。また、研究集会などに参加予定、または参加された方を紹介いただければ、事務局から執筆のお願いをすることもできます。会員相互の情報交換の場として「IUFRO-J News」をどうぞご活用ください。

（事務局）

IUFRO-J News No. 88 平成18年8月25日

国際森林研究機関連合-日本委員会事務局

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1

森林総合研究所内

TEL 029-873-3211 (751)

iufro-j@ffpri.affrc.go.jp

〔編集・発行〕